



# 復興支援ニュース

宮城県東部保健福祉事務所  
(宮城県石巻保健所)

Vol.44



平成27年3月

## カビを放置していませんか ～除湿・掃除でカビ予防～

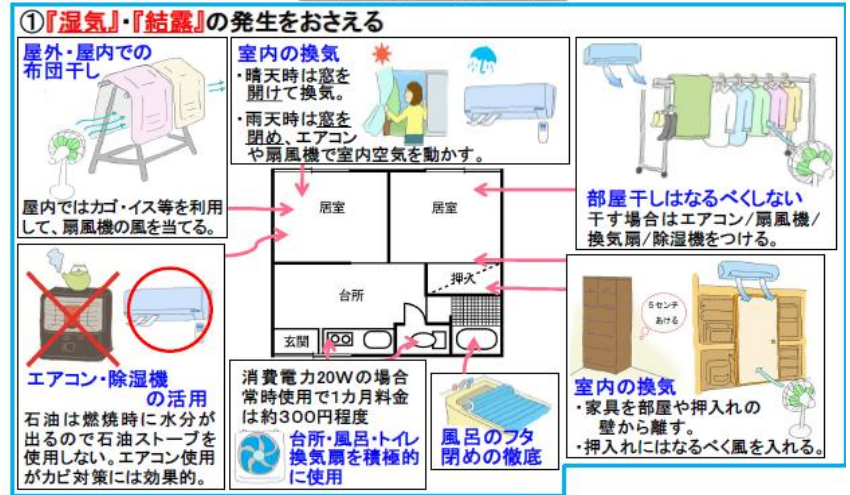
暖房を使用するこの時期、応急仮設住宅では、カビが発生しやすいため注意が必要です。

石巻市内の応急仮設住宅入居者を対象に、国立医薬品食品衛生研究所等が行った調査では、カビを恒常的に吸い込んだ入居者341人中、「喘息」と診断された方は78人(22.9%)で、通常より2～3倍高い確率で喘息が発症していることが明らかになりました。

病気を予防するためには「湿気を減らす」「ハウスダストをためない」ことがポイントです。

### 仮設住宅でのカビ予防ポイント

除湿・掃除が肝心です！



出典：厚生労働省「応急仮設住宅生活における真菌（カビ）対策について」

## 災害に対する「食」の備えを ～災害時給食ネットワーク運用会議～

2月3日、石巻合同庁舎で「石巻保健所管内災害時給食施設栄養士ネットワーク運用会議」を開催しました。

この会議は、管内38の給食施設栄養士がメンバーとなり、地域の給食施設間で災害時に助け合える「共助」体制づくりを目的に平成23年度から開催しています。

今回は、災害時の連絡網運用や、各施設の災害マニュアルに関する意見交換を行いました。参加した施設からは「定期的なマニュアル見直しや訓練を行いながら災害に備えていきたい」という声が聞かれました。



【管内の栄養士が集まりました】

災害時には共に助け合います！

## 健康づくりに関する出前講座を行っています

2月20日、石巻商工会議所女性会で「食と健康」に関する出前講座を実施しました。

出前講座では、メタボリックシンドロームや低栄養予防のため、何をどれ位食べたらいいかななどを、女性の皆さんと一緒に学習しました。

参加者からは「宮城県が全国で2番目にメタボが多いことに驚いた」、「健康で長生きできるように生活を見直したい」などの感想が聞かれました。

石巻保健所では、「働く人」の健康づくりを支援するため、保健師や管理栄養士が事業所などに出向き、健康講話を行っています。

出前講座の講師の派遣費用は無料です。実施を希望される場合には、実施日の1か月前位までに成人・高齢班まで御連絡ください。

(電話：0225-95-1419)



【講座を熱心に聴講する女性会の皆さん】

## 大規模災害等による停電への対策は万全ですか？

2月5日、石巻合同庁舎で「在宅人工呼吸器装着難病患者支援者研修会～大規模災害等による停電に備える～」を開催しました。管内の介護支援専門員、看護師、介護員、家族等37人の参加がありました。

神経難病医療連携センターの関本聖子先生から「自分で作る災害時対応ハンドブック」について講義をしていただいた後、東北薬科大学病院臨床工学技士の伊藤孝彦先生に「災害時の家庭用電源の確保」について講義をしていただきました。

また、伊藤先生と介護研修センター作業療法士の大場薫先生を講師に、参加者が発電機を動かす体験もしました。「家にもガソリンタイプの発電機がありますが、いざというときのために保管に工夫が必要だと思いました」等の感想がありました。



【ガソリンタイプの発電機】



【カセットボンベタイプの発電機】

## ブルーインパルス飛行訓練に伴う騒音対策を行っています

震災による津波で甚大な被害を受けた航空自衛隊松島基地（東松島市）では、平成25年度からブルーインパルスの訓練が再開され、平成28年3月には津波対策のかさ上げ工事が終わり、一時移転中のF-2戦闘機が青森県の三沢基地から戻る予定です。

県では、基地周辺の騒音測定を通年測定局3箇所、短期測定を10箇所で行っており、昨年度の測定結果で騒音レベルは環境基準未満でした。また当所でも、関係機関による騒音対策会議に出席するとともに基地の視察を行い、飛行訓練に伴う騒音や復興状況等の確認を行っています。

今後も関係市、関係機関と連携して訓練の本格的な復興に伴う、基地周辺の騒音等に適切に対応してまいります。



【航空自衛隊松島基地】

## 地域での死の看取りを考えました

2月9日、石巻グランドホテルで「医療と福祉の連携推進研修会～地域での死の看取りについて～」を石巻地区地域医療対策委員会と当所の共催で、開催しました。当日は、医師や歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー等102名が参加しました。

公立大学法人宮城大学看護学部教授の小野幸子先生から、自然な死の看取りを実現するために、医療従事者・介護従事者に求められることは何か、高齢者のケア施設や在宅で看取る条件など、ご自身の経験も踏まえて講話をいただきました。

参加者からは、「初心に戻って専門職として頑張りたい」等の意見がありました。

この地域で、ご本人とその家族が望む場所でその人らしく最期を迎えられるように、地域の医療と福祉の連携を推進してまいります。



【講師の小野先生と参加者】

## ひとりで悩まずに こころの相談をしてみませんか

眠れない、気分が落ち込む、アルコール依存症、家族が引きこもっている…などでお悩みの方に、当所では「こころの相談」を行っています。

- 精神保健福祉相談：精神科指導医による相談
- アルコール関連相談：精神保健福祉士による相談
- 思春期・引きこもり相談：臨床心理士による相談

4月の相談日程については、未定となっております。まずは、当所保健師にご連絡ください。

※事前予約制（電話：0225-95-1431）

【編集後記】1年間ご愛読ありがとうございました。来年度も引き続き情報発信に努めてまいります。

### 問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所 復興支援情報発信チーム

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

TEL:0225-95-1416(代表) FAX:0225-94-8982